

令和7年度

地域活動拠点整備事業

東西条地域センター電灯設備改修工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市西条土与丸二丁目

特 約 事 項

受注者は、工事施工業者の社会的責任において信義、誠実に施工するとともに次の事項について十分遵守すること。

1. 本工事の施工にあたり、適用を受ける関係法令等を遵守し、工事の円滑な進行を図ること。また、関係法令等に基づく関係官公署等への必要な届出手続きを遅滞なく行うこと。
2. 現場着手に先立ち、施工計画（工程計画・仮設計画・安全管理計画等）作成のための現地調査等を十分に行うこと。なお、調査に際しては、施設管理者と協議し、施設使用者に支障のないように行うこと。
3. 現場作業時間は、原則月曜日から金曜日の8時から17時までとし、土曜日・日曜日は休工とすること。ただし、現場条件及び工程の進捗状況等により、あらかじめ施設管理者と打合せのうえ、監督職員の下承が得られた場合はこの限りではない。なお、居ながら工事であるため作業時間は事前に施設管理者へ通知すること。
4. 施設を運用しながらの工事のため、本工事受注者および関係者は第三者等の施設利用を妨げないように十分注意するとともに、安全対策に万全を期して工事を実施すること。
5. 施設を運営しながらの工事のため、施設管理者と十分協議のうえ、工程計画を策定すること。また、停電・騒音・振動等が発生し、運営に支障が出る作業については、施設の利用時間帯以外で行うこと。ただし、施設管理者の承諾を得られた場合はこの限りではない。
6. 仮囲い等仮設物の設置に関しては、図面（建築-5）を参考として、施設管理者、監督職員と十分協議の上、安全対策に万全を期して行うこと。
なお、図面（建築-5）に記載の工事ヤード以外に、市から土地の提供は行わない。
7. 工事期間中は適宜交通誘導警備員を配置し、通行人等に対する安全対策に万全を期すること。資材等を頻繁に搬出入するなどの交通に支障を来たすおそれがある場合は、必要に応じて交通誘導警備員を増員すること。
交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から合計2人を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行ったうえで変更対象とする。

令和7年度 地域活動拠点整備事業
東西条地域センター電灯設備改修工事

8. 近隣から苦情等が発生した場合は、誠実に対応すると共に、監督職員と十分協議のうえ、受注者の責任において処理すること。
9. 万一、工事が原因で、近隣及び公共施設等に損害を与えた場合は、受注者の責任において補償すること。
10. 工事が原因で関係者及び近隣住民等への日常生活に影響を及ぼす恐れのある次の事項などに十分留意し、看板の設置等による工事内容の事前周知、関係者に説明、協議を行い、工事の進捗を図ること。
 - ・騒音、振動、防塵、電波障害等
 - ・工事関係車両の進入路及びやむを得ない通行止め
 - ・工事関係車両の駐車禁止及び待機場所の確保
 - ・公共施設などに影響を及ぼした場合の復旧
11. 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。
12. 工事目的物及び工事材料を建設工事保険等に附すること。保険契約締結後は、速やかに証券等の写しを提出すること。
 - ①期間は、現場作業着手日から工期末日までとする。

ただし、受注工事毎に附する保険の場合ではなく、受注者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合は、新契約の証券等の写しを提出すること。
 - ②保険は、請負額相当額に対し附すること。
13. （部分使用について）

施設を運営しながらの工事のため、使用できる箇所から随時、部分使用できる状態とし、部分使用の期限については、別途監督職員と協議すること。
14. 本工事において、受注者は法定外の労災保険に附さなければならない。
 - ①受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - ②法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

令和 7 年度 地域活動拠点整備事業
東西条地域センター電灯設備改修工事

15. 本工事は、週休 2 日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休 2 日適用工事等実施要領（営繕工事）（最新版）」に従うこと。

特 記 仕 様 書

主任技術者又は監理技術者の配置等

1 主任技術者又は監理技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される主任技術者又は監理技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

- (1) 工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
- (2) 工事用地等の確保が未完了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベータ等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任技術者又は監理技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任技術者又は監理技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

- (4) 工事完成後、検査が終了し、引渡しを受けるまでの期間

2 主任技術者又は監理技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任技術者又は監理技術者の変更ができるものとする。

- (1) 受注者の責によらない理由により工期が延長された場合であって、延長前の工期を経過したとき。
- (2) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター、発電機・配電盤等の電機品等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

特 記 仕 様 書

＜現場代理人の常駐義務の緩和＞

監督職員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第 10 条第 3 項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

- (1) 請負金額が 4, 500 万円（建築一式工事にあつては、9, 000 万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第 20 条第 1 項又は第 2 項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- (5) 上記(2)、(3)、(4)に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間

＜現場代理人の兼務＞

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して 14 日（東広島市の休日定める条例（平成元年東広島市条例第 6 号）第 1 条第 1 項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和 49 年 4 月 20 日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成 17 年 2 月 7 日前の町の区域とする。

アスベスト成形板処理作業仕様書

1. この工事については石綿等(アスベスト成形板)が使用されている建築物の解体工事であり、以下の法律を遵守し労働者の健康保護及び一般環境への汚染防止に努めること

- ① 労働安全衛生法・石綿障害予防規則
- ② 大気汚染防止法
- ③ 建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律(リサイクル法)
- ④ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)

2. アスベスト成形板の撤去方法

- (1) アスベスト成形板の撤去は、内装及び外部建具等の撤去にさきがけて行う。
- (2) 建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉塵が外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。
- (3) アスベスト成形板の撤去は、可能な限り撤去又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト成形板を撤去する場合は、できる限り、原型のまま撤去する。
- (4) 撤去作業中は、散水その他の方法により、アスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。
- (5) 撤去作業時には、防塵マスク、防護メガネ及び作業衣を着用させる。
- (6) 撤去作業後、アスベスト成形板の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉塵が残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。
- (7) 解体現場周辺に粉塵等の飛散を防止するために解体する建物の高さ以上に飛散防止幕を設置し撤去物を十分湿潤化できる散水装置を設置する。

3. アスベスト成形板の集積、運搬等

- (1) 撤去したアスベスト成形板の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しないことその他、粉塵の飛散防止に努める。
- (2) 細かく破砕されたアスベスト成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等、飛散防止の措置を講じる。
- (3) 撤去したアスベスト成形板を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、アスベスト成形板の保管場所であることの表示を行う。
- (4) アスベスト成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
- (5) アスベスト成形板の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。

4. アスベスト成形板の処分等

- (1) アスベスト成形板は、一般産業廃棄物として安定型処分場で処分する。なお、マニフェストには、アスベスト成形板であることを明示する。
- (2) 撤去されたアスベスト成形板の処分が完了した場合には、マニフェストを監督職員に提出し、処分が確実に行われたかの確認を受ける。

5. 必要な作業主任者

石綿作業主任者もしくは、特定化学物質等作業主任者の資格を取得したものを選任すること。

令和7年度 地域活動拠点整備事業
東西条地域センター電灯設備改修工事

建設副産物の取り扱いに関する特記仕様書

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次の URL を参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³

**令和 7 年度 地域活動拠点整備事業
東西条地域センター電灯設備改修工事**

以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成 14 年法律第 53 号）第 3 条第 7 項又は第 4 条第 1 項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和 36 年法律第 191 号。以下「盛土規制法」という）第 12 条第 1 項、第 16 条第 1 項、第 30 条第 1 項又は第 35 条第 1 項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - (2) 当該行為が盛土規制法第 21 条第 1 項、第 27 条第 1 項、第 28 条第 1 項又は第 40 条第 1 項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

令和 7 年度 地域活動拠点整備事業
東西条地域センター電灯設備改修工事

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する 9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9 の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

工事中情報共有システムに関する特記仕様書

1 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領（建築工事）」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

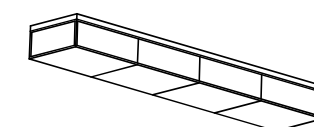
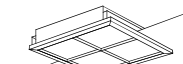
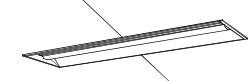
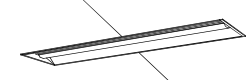
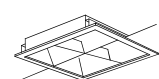
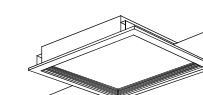
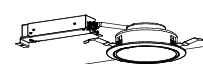
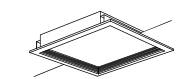
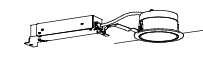
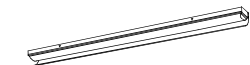
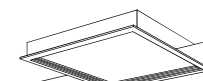
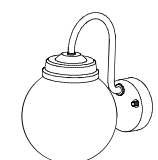
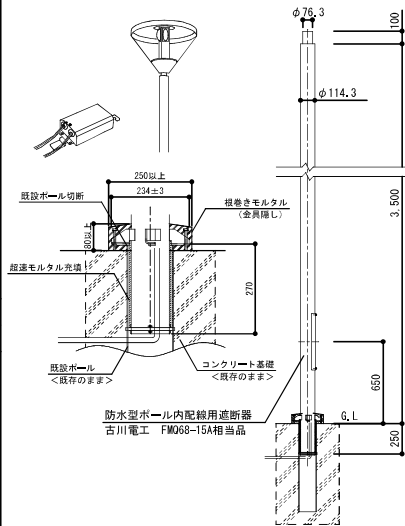
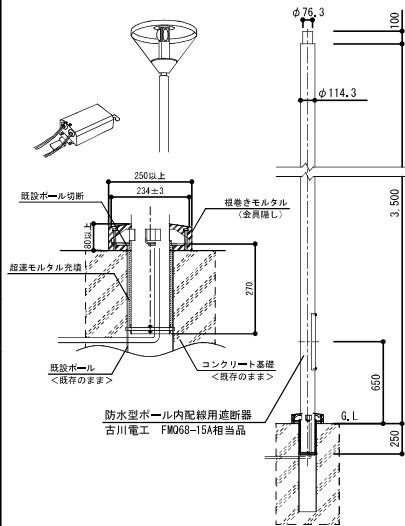
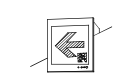
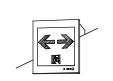
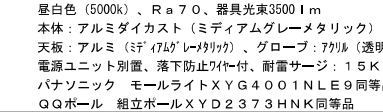
この場合においては、次のとおりとする。

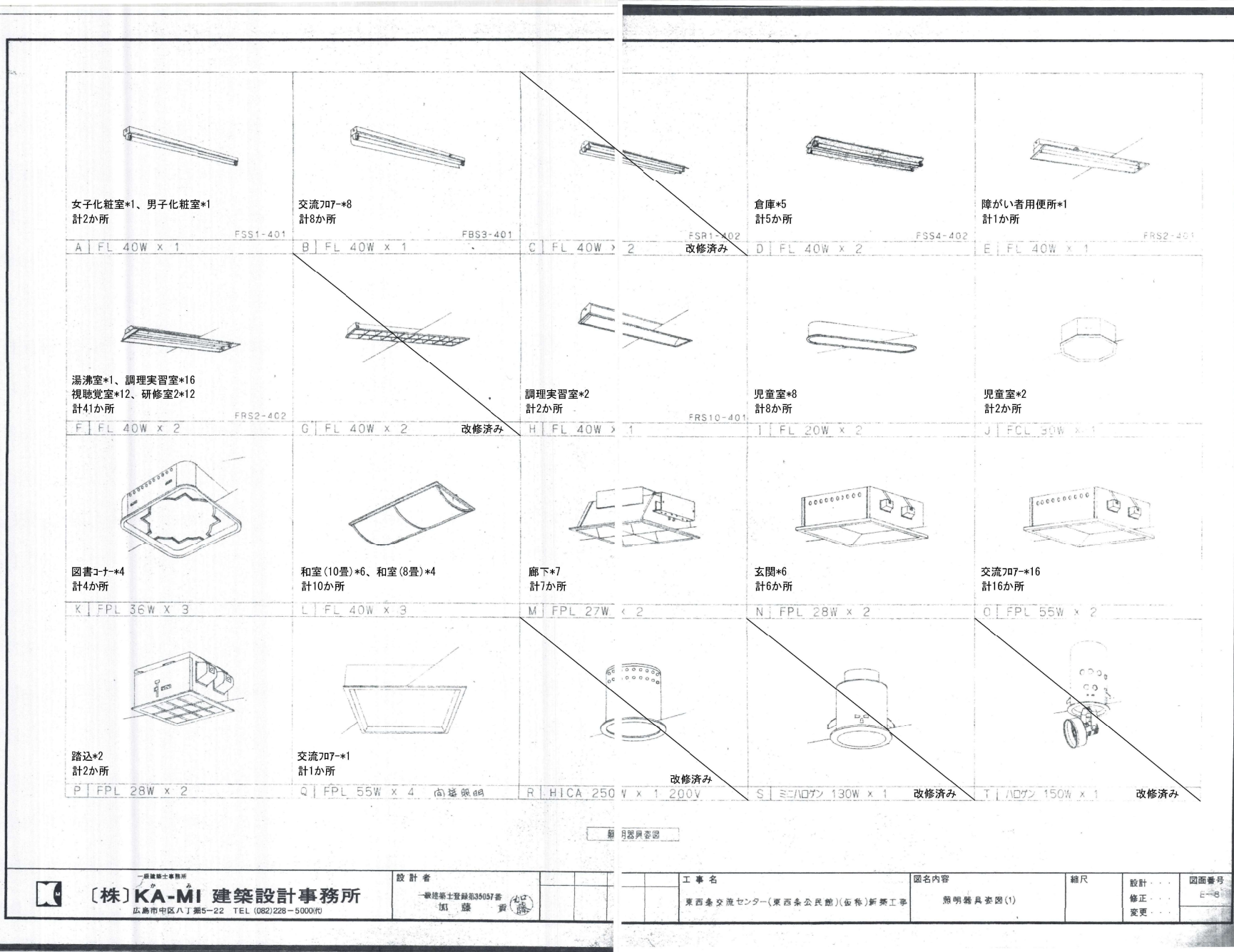
- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD 製図基準（国土交通省）」および「CAD 製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

令和7年度 地域活動拠点整備事業
東西条地域センター電灯設備改修工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-1	表紙・図面目録	—
E-2	電気設備工事特記仕様書	—
E-3	工事概要・敷地案内図・改修後 配置図	1:10,000 1:250
E-4	改修前 配置図	1:250
E-5	分電盤回路図・新設照明器具姿図（1）	—
E-6	新設照明器具姿図（2）	—
E-7	既設照明器具姿図（1）	—
E-8	既設照明器具姿図（2）	—
E-9	改修後 電灯設備平面図	1:100
E-10	改修前 電灯設備平面図	1:100
E-11	改修後 誘導灯設備平面図	1:100
E-12	改修前 誘導灯設備平面図	1:100
A-1	平面図	1:100
A-2	断面図 1	1:100
A-3	断面図 2	1:100
A-4	天井伏図	1:100
A-5	仮設計画図（参考図）	1:250

SP-61	LED7.6W 角形ダウンライト 100形	SP-62	LED36.0W 和風直付け天井灯 （注）既設吊りボルト2本φ800→4本φ850 既設吊りボルトから新設のこと	SP-63	LED24.0W 和風埋込天井灯 （注）既設吊りボルト2本φ300→2本φ350 既設吊りボルトから調整のこと	SP-64	LED20.6W 埋込天井灯 器具光束3100lm	SP-67	LED20.6W 埋込天井灯
 埋込寸法150角、拡散タイプ 昼白色（5000K）、Ra85、器具光束1005lm 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板：アルミダイカスト（シルバーメタリックつや消し仕上） 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） パナソニック デコライトXND1065SNLE9同等品		 幅：280 長さ：1278 高さ：128（mm）、器具光束4850lm 昼白色タイプ（5000K）Ra83 本体：鋼板t0.35（白） 枠：ポリカーボネイト 乳白 東芝 LEKT423694HN-L S9 + LEDX-42310同等品		 埋込寸法350角、FHP23形×4灯相当タイプ 電球色（3000K）、Ra83、器具光束2250lm 本体：鋼板（高反射白色粉体塗装） 枠：木製（白木）、パネル：アクリル（和紙模様入り） パナソニック 埋込XL564WATJLA9同等品		 埋込寸法300×1257 昼白色（5000K）、Ra83 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） パナソニック埋込XLX439.429.449VENLE9同等品		 埋込寸法190×1257 昼白色（5000K）、Ra83、器具光束3100lm 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） パナソニック埋込XLX430RENTLE9同等品	
SP-68	LED9.5W ブラケット	SP-69	LED24.0W 埋込天井灯	SP-70	LED34.0W 埋込天井灯	SP-71	LED4.2W ダウンライト 60形	SP-72	LED24.0W 埋込天井灯 器具光束2900lm
 昼白色（5000K）、Ra83、器具光束840lm 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白） 両面化粧タイプ パナソニック LGB85042LE1同等品		 埋込寸法275角、FHP23形×3灯相当タイプ 昼白色（5000K）、Ra83、器具光束3020lm 本体：亜鉛鋼板（高反射白色粉体塗装） パネル：7ガル（乳白）ルーバー：鋼板（高反射白色粉体塗装） パナソニック 埋込XL553LWVKLE9同等品		 埋込寸法450角、FHP23形×3灯相当タイプ 昼白色（5000K）、Ra83、器具光束4790lm 本体・枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）、深枠（白） パネル：ポリネット（乳白）、パッフル：アルミ（ホワイト） パナソニック 埋込XL573PGVKLA9同等品		 埋込寸法φ150、拡散タイプ、光源遮光角15度 昼白色（5000K）、Ra85、器具光束615lm 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） パナソニック デコライトXND0669WNLE9同等品		 埋込寸法350角、FHP23形×4灯相当タイプ 昼白色（5000K）、Ra83 本体・枠：鋼板（高反射白色粉体塗装）、深枠（黒） パネル：ポリネット（乳白）、パッフル：アルミ（ブラック） パナソニック 埋込XL564.563PHVJLA9同等品	
SP-74	LED4.6W ダウンライト 60形	SP-75	LED16.3W 片反射反射板付きLSS1-4-23	SP-76	LED16.9W 埋込天井灯	SP-77	LED4.9W ブラケット（LED電球40形相当）	SP-78	LED34.5W 屋外灯 水銀灯100形相当
 埋込寸法φ100、広角タイプ、光源遮光角15度 電球色（3000K）、Ra85、器具光束615lm 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） パナソニック デコライトXND063OWLLE9同等品		 昼白色（5000K）、Ra83、器具光束2500lm 片反射反射板：亜鉛鋼板（高反射白色粉体塗装） 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） パナソニック埋込XLX439.429.449.439VENLE9同等品		 埋込寸法300角、深枠（銀） 昼白色（5000K）、Ra83、器具光束13220lm 本体：亜鉛鋼板（ホワイト）、・枠：アルミ（銀色） パネル：アクリル パナソニック NNF45660LT9同等品		 防雨型、壁直付型、器具幅180×H280×D271mm 電球色、2700K、Ra84、器具光束350lm 本体：アルミダイカスト（ブラック塗装） グローブ：ガラス（内面白色塗装） コイズミ AU40255L同等品		 防雨型、壁直付型、器具幅180×H280×D271mm 電球色、2700K、Ra84、器具光束350lm 本体：アルミダイカスト（ブラック塗装） グローブ：ガラス（内面白色塗装） コイズミ AU40255L同等品	
鉄A	LED避難口誘導灯+誘導灯吊具H500 B級B形片面（電池内蔵） SH1-FSF20-BH	鉄B	LED避難口誘導灯+誘導灯吊具H750 B級B形片面（電池内蔵） SH1-FSF20-BL	鉄C	LED通路誘導灯+リニューアブルプレート C級片面（電池内蔵） ST1-FBC22-C	鉄D	LED通路誘導灯+リニューアブルプレート C級片面（電池内蔵） ST1-FBC22-C	 防雨型、壁直付型、器具幅180×H280×D271mm 電球色、2700K、Ra84、器具光束350lm 本体：アルミダイカスト（ブラック塗装） グローブ：ガラス（内面白色塗装） コイズミ AU40255L同等品	
 誘導灯吊具仕様 本体：亜鉛鋼板、カバー：鋼板（クールホワイト） メーカー標準加工品		 誘導灯吊具仕様 本体：亜鉛鋼板、カバー：鋼板（クールホワイト） メーカー標準品		 リニューアブルプレート（壁埋込用）仕様 本体：亜鉛鋼板、カバー：鋼板（クールホワイト） 参考寸法：450×240×55 壁埋込用 メーカー標準品		 リニューアブルプレート（壁埋込用）仕様 本体：亜鉛鋼板、カバー：鋼板（クールホワイト） 参考寸法：450×240×55 壁埋込用 メーカー標準品		 昼白色（5000k）、Ra70、器具光束3500lm 本体：アルミダイカスト（ミディアムグレーメタリック） 天板：アルミ（シルバーメタリック）、グローブ：7ガル（透明） 電源ユニット別置、落下防止ワイヤ付、耐雷サージ：15KV パナソニック モールライトXYG4001NLE9同等品 QQボール 組立ボールXYD2373HNK同等品	
東広島市都市交通部営繕課				工事名 令和7年度 地域活動拠点整備事業 東西条地域センター電灯設備改修工事		図面内容・縮尺 新設照明器具図（2）		A2：100% A3：71%縮小 設計 令和3年 種別 E 図面番号 6	



一級建築士事務所
〔株〕KA-MI 建築設計事務所
 広島市中区八丁堀5-22 TEL (082)228-5000(代)

設計者
 一級建築士登録第35097番
 加藤 貴之

工事名	図名内容	縮尺	設計	図面番号
東西条交流センター(東西条公民館)(仮称)新築工事	照明器具姿図(1)		設計 修正 変更	E-8